

日本建築学会関東支部第 25 回提案競技

「美しくまちをつくる、むらをつくる」

## 「ナラティブからひもとくまちづくり」

# 人の思いの集積が「まち」を形成し、「都市」を動かす

「建築・まちづくり提案の部」

主催：日本建築学会関東支部

「絵画コンクールの部」

共催：日本建築学会関東支部埼玉支所

後援：熊谷市 熊谷商工会議所 埼玉新聞社 FM. クマガヤ

埼玉建築士会 埼玉建築士事務所協会 日本建築家協会関東

甲信越支部埼玉地域会 埼玉建築設計監理協会 埼玉県設備

設計事務所協会

実在の市街地を対象に、今後の「まち」をテーマに建築・都市の専門家、地域に暮らす子どもから大人までが参加する提案競技です。たてものやまちのことを皆で考え未来を創造する機会とします。以下の2部門において提案や作品を幅広く募集いたします。

今回は熊谷市全域を対象として、日本建築学会関東支部と熊谷市、各種団体が協力し、公開審査（建築・まちづくり提案の部のみ）、表彰、作品展示を行う予定です。

①「建築・まちづくり提案の部」 建築を学ぶ学生、実務者、まちづくりに関わる方々を対象

②「写真・絵画コンクールの部」 子どもから大人まで、熊谷の魅力と希望を引き出してくれる方々を対象

### ①「建築・まちづくり提案の部」

#### 課題：「ナラティブからひもとくまちづくり」

「まち」とはそこで活動する人々が自らの思いを遂げるために作った建造物などが集まった場であり、人の思いの集積が形になったものと言い換えることもできる。我々はそういう「思い」を自らの言葉で語り、共有し「まち」を形成するような活動を成すために言語化したものをナラティブと呼ぶことにした。

日本建築学会関東支部埼玉支所では、昨年度（2023年度）に熊谷市内各所で活動する多種多様なナラティブを聞き取り、体験し、報告書を作成した。そこに登場するナラティブは、熊谷で活動し、熊谷を形成するナラティブの一部でしかないが、そこから「まち」の本質を伺い知ることができる。

今回の建築・まちづくりコンペでは、そのような熊谷市内で活動する様々なナラティブのあり方を手掛かりに、熊谷をより裕な未来へと導く提案を求める。各ナラティブは、ある時期熊谷の一部を形成するが、

やがて別のナラティブに置き換わる性格の活動かもしれないし、永続するとは限らない。従って今回の提案競技で求める提案は、現在活動する具体的な団体や活動にとらわれる必要はない。沢山のナラティブがせめぎ合い、からみあって都市を織り上げていると言う視点をもって、熊谷というフィールドで、このまちに触発されたあなたのナラティブをこのまちに埋め込むことで、新たな熊谷の未来を創造していただきたい。斬新な提案を期待するが、荒唐無稽でない、時間と努力によって実現性がある提案を期待している。

全国的な人口減少の趨勢の中で、成長しなくても良い都市において、ときめきと安らぎを感じながら生きる方法が見つかるのではないかと期待している。

参考1：2023年度の日本建築学会関東支部埼玉支所による活動「第21回 埼玉住まい・まちづくり交流展 ナラティブ あなたのナラティブをメッセージませんか」の報告書

(<http://kanto.aij.or.jp/images/pdf/teian/2024/2lreport.pdf> 現地説明会当日に配布予定、上記URL  
の他、埼玉支所のホームページにも掲載予定。)

参考2：埼玉支所がFMクマガヤで提供しているラジオ番組『何度でも初回』のゲストとして、昨年度にご参加いただいたナラティブの登場団体の関係者をお招きしており、音源もアーカイブされています。

(<https://www.aij-branch-saitama.com/>)

## 背景及び熊谷の概要

熊谷は関東を代表する2大河川、利根川と荒川を市域に有し、古くから人々が生活を営む地域であった。源平合戦を描いた「平家物語」には熊谷直実、斎藤実盛が英雄として描かれ、歌舞伎や能の演目となり、各地に多くの伝承が残されている。江戸時代には、現在の中心市街地が中山道の宿場町となり、その中でも有数の規模を誇るなど、交通や水運の要衝として栄えた。長い歴史を背景に、熊谷には国宝の妻沼聖天山歎喜院聖天堂をはじめとして、熊谷市域が経済・文化面で発展していたことを示す宮塚古墳や、幡羅官衛遺跡群、弥生時代の水田跡など多くの史跡や遺物が残されている。また、古くから条里が施工され生産性の高い広大な農地開発や、備前渠用水等、用水の整備により新田開発が農業の発展をもたらした。豊富な湧水は酒造業の展開にもつながった。明治時代には養蚕業の発展と共に多くの製糸工場が立地し、同時に染色業も盛んで「熊谷染」という伝統技術は今に受け継がれている。関東一の祇園と言われる「うちわ祭り」、星溪園、聖パウロ教会などの文化資産、県天然記念物に指定されているムサシトミヨ生息地である元荒川や葛和田の渡し船、日本農業遺産に選ばれた比企丘陵などの自然資産にも恵まれている。

昭和8年に県下2番目に市制を施行し、昭和、平成の大合併を経て、現在の市域となった。また、昭和20年8月14日の深夜、熊谷空襲により中心市街地の大半が焼失したが、戦後間もなく戦災復興土地地区画整理事業が行われ、市街地では整然とした街並みが形成されている。昭和57年の上越新幹線開通によって新幹線停車駅となり、道路整備では、国道17号、125号、140号、407号が市内を通るなど、埼玉県北部の中核都市として風格を高めてきた。

人口約19万人、産業構造は、工業における製造品出荷額、農業における農業産出額、商業における年間商品

販売額、いずれの分野も県内5位以内に位置する産業都市である。東京までの距離は50km、熊谷の20km圏内には8つの高速道路インターチェンジがあり交通の便も優れている。

中心市街地のインフラ整備は概ね完了しているが、人口減少社会において熊谷の人口は漸減が続いている。平成30年には国内最高気温となる41.1℃を観測し、日本一暑いまちとしても頻繁にメディアに登場しており、「暑さ対策日本一」を目指した取組でも知られている。現在、暑い中でも快適に楽しく、いきいきと活動できるよう、デジタル手法も活用して、厳しい暑さに対応したまちの活性化に取り組んでいる。

## 対象地域

熊谷市全域

参考1：熊谷市立地適正化計画における都市機能誘導区域

※都市機能誘導区域＝商業・医療・福祉等の都市機能を都市の中心拠点や生活拠点に誘導・集約することにより、各種サービスの効率的な提供を図る区域

参考2：都市拠点：熊谷駅周辺 副都市拠点：籠原駅周辺

<https://www.city.kumagaya.lg.jp/about/soshiki/toshi/toshikeikaku/kyokatodokede/ritteki.html>

## 現地説明会

日時：2024年11月9日（土） 10:30～15:30頃

場所：熊谷駅ビル・アズ熊谷 6階 PLACE HALL

※午前中は市街地の街歩き、午後はシンポジウムを予定しています。詳細は、日本建築学会関東支部埼玉支所のホームページに掲載します。

(<https://www.aij-branch-saitama.com/>)

**ご案内はこちらから**

## 要求図面など

『提案図面』（A3サイズ、2枚）及び『提案概要書』（A4サイズ、1枚）電子データ

- 1) 着目した現状や計画条件を図や写真等を用いて、わかりやすく説明してください。
- 2) 提案内容を、設計趣旨、図版（ダイアグラム、配置図、平面図、断面図、立面図、透視図、模型写真等）を自由に組み合わせ、表現してください。縮尺明記のこと。必須図面はありません。ただし、

模型、ビデオ等は受け付けません。なお、設計趣旨の概要を600字以内の文章にまとめ、10ポイント以上の文字で図面中に記入してください。

- 3) 『提案図面』はA3サイズ、2枚(297mm×420mm、サイズ厳守、変形不可、2枚つなぎ合わせることは不可)以内。
- 4) 『提案概要書』はA4サイズ1枚(縦使い、文字は10ポイント以上)に図版数点(任意)と提案趣旨をレイアウトしたもの。
- 5) 一次審査通過者は、二次審査(公開審査)にてパワーポイント等を利用し、当日プレゼンテーションを行う。

### 注意事項

- 1) 『提案図面』及び『提案概要書』には、応募者の氏名、所属等がわかるようなものを記入しないで下さい。
- 2) 他の設計競技等と二重応募になる作品、あるいは既に発表された作品は応募できません。
- 3) 応募作品は、本人の作品でオリジナルな作品であることが必須です。

### 応募資格

建築を学ぶ学生、実務者、まちづくりに関わる方々、まちづくりに関心をお持ちの方などの個人または団体。ただし、一次審査を通過し二次審査へ進出するのは日本建築学会の個人会員(正会員、準会員)とします。

2025年1月10日(金)までに所定の入会手続き完了していない応募者は二次審査へ進出できません。なお、入会資格は建築の関する学識・経験のある個人となっています。詳しくは日本建築学会関東支部ホームページをご確認ください。共同制作者も同様です。

### 提供資料

現地説明会で配布する資料は、日本建築学会関東支部ホームページに掲載します。熊谷市、共催者への直接の資料請求はできませんので、ご注意ください。

### 作品提出

- 1) 提案図面(A3サイズ・2枚)
- 2) 提案概要書(A4サイズ・1枚)
- 3) 応募申込書(A4サイズ・1枚、必須事項:代表者・

共同製作者氏名・日本建築学会会員の方は会員種別・会員番号・所属、代表者連絡先住所・電話番号・E-mailアドレス)

<http://kanto.aij.or.jp/images/pdf/teian/2024/entry-sheet2024.doc>

- 4) 電子データ(CD-R等、提案図面・提案概要書・応募申込書のPDFファイルデータを記録)

以上4点を一括して封筒に入れ、厳封の上で提出してください。

### 提出方法

- 1) 郵送・宅配便または持参とします。なお、郵便等で提出される方で、受領通知が必要な方は、受領通知用返信はがき(郵便はがきに代表者住所、氏名を記入のこと)を同封してください。
- 2) 応募作品は1案ごとに別々に提出してください。
- 3) 応募締切:2024年12月24日(火)17時  
持参の場合は平日10時~17時に受け付けます。  
(土・日曜、祝日は受け付けません)・郵送等の場合は締切日時必着とします。
- 4) 提出先:後述の問い合わせ・作品応募先へ提出

### 審査方法および発表

- 1) 第一次審査(非公開)  
審査委員会にて提案図面等を審査し、応募案の中から第二次審査へ進出するノミネート作品を決定。
- 2) 第二次審査(公開)  
ノミネート者によるプレゼンテーションを実施し、同日審査を行い、各賞を決定して発表します。なお、代理によるプレゼンテーションは認めません。また、PCプロジェクターは会場にご用意しますが、コンピューターなどは各自でご用意ください。  
日時:2025年1月26日(日)14:00~17:00  
場所:熊谷駅ビル・アズ熊谷 6階 PLACE HALL
- 3) 入賞者発表  
第一次審査の結果:審査後、日本建築学会関東支部ホームページに公表、第二次審査に進出するノミネート者には個別に代表者に通知します。第二次審査の結果は、第二次審査会場にて発表します。  
入賞作品、審査講評は後日、日本建築学会関東支

部ホームページに発表します。

- 4) 入賞作品展示  
詳細未定、後日決定。

### 審査委員会

審査委員長：田中 智之（早稲田大学 教授）  
特別審査委員：小林 哲也（熊谷市長）  
審査委員：白江 龍三（埼玉支所長）  
審査委員：時田 芳文（埼玉支所 前支所長）  
審査委員：永峰 麻衣子（㈱永峰総合計画事務所・  
千葉大学非常勤講師）  
審査委員：小谷 隆幸（熊谷市都市整備部都市計画  
課 主幹兼計画係長）  
実行委員長：原口剛（埼玉支所）

### 賞

最優秀賞 1点（賞状、副賞20万円）  
特別賞 1点（賞状、副賞10万円）  
優秀賞 3点（賞状、副賞5万円）  
佳作 4点以内（賞状、記念品）

### 著作権

応募作品に関する著作権は各応募者に帰属します。ただし主催者及び後援者が、この事業の主旨に即して入賞作品を日本建築学会誌またはホームページに掲載、図書の出版、展示等の公表のために用いる場合は、入賞者及び後援者が『提出図面』および『提案概要書』の全体あるいは部分を利用することについて承諾することを前提とします。

### 現地調査に当たり嚴重注意事項

- ・許可無く敷地や建物に立ち入らないこと。
- ・写真を撮影する場合は、財産権 著作権 肖像権等十分配慮すること。

### その他

- ・入賞作品の提案につきましては、今後の熊谷のまちづくりの参考とさせていただきますが、実現化については未定です。
- ・応募作品および関係書類は返却しませんので、作品の控えやデータは必ず保管してください。
- ・審査に関する質疑は一切受け付けません。
- ・応募規定に違反した場合は受賞を取り消すことが

あります。特に提出図面における表記には十分注意し、著作権等に抵触しないように作成、確認すること。

- ・その他詳細は日本建築学会関東支部ホームページに掲載します。

### 問い合わせ先・作品応募先

日本建築学会関東支部「提案競技・建築・まちづくり提案の部」係

〒108-8414 東京都港区芝 5-26-20

電話：03-3456-2050 E-mail：[kanto@aij.or.jp](mailto:kanto@aij.or.jp)

<http://kanto.aij.or.jp>

## ②「写真・絵画コンクールの部」

### テーマ：わたしたちのまち“くまがや”

皆さんの熊谷への思いを伝えていただけるような写真や絵画等を募集します。

写真の切り貼りのコラージュや合成写真なども可です。

熊谷の美しい風景や興味深い光景などを期待していますが、政治家や事業家、都市計画家、まちの開発企画を立案する人、建築家など、熊谷のまちを変えていく可能性がある人達に、「熊谷にはこんな素晴らしいものがあるから大切にね」とか「こういうものをもっと盛り上げてほしい」などのメッセージが伝わるものは特に歓迎します。「未来の熊谷がこうなって欲しい」と言う提案をしていただいても結構です。

撮影時期、作成時期は問いませんが、未発表のものであることが条件です。原則として全作品を2次審査会場に展示します。

なお、審査は 小学校低学年、小学校中学年、小学校高学年、中学生、一般の部（高校生含む）の5部門でそれぞれ進めますが、受賞作品選定に当たっては、賞の性格を考慮して全体の中から選びます。

**対象地域**：熊谷市全域

### 応募資格

建築学会関東支部の域内(埼玉県、千葉県、神奈川県、東京都、茨城県、栃木県、群馬県、山梨県)にお住まいの小中学生及び一般(高校生含む)の方

### 提出作品

- ・写真の場合は2Lサイズ、絵画等の場合は八つ切りの大きさ(392mm×271mm)の画用紙以下の大きさであれば任意とします。用紙は任意です。  
1月26日に①「建築・まちづくり提案の部」の公開審査会場に入選作品を展示します。
- ・縦・横は自由です。
- ・作品表面にお名前や学校など、個人を特定できる情報を入れないでください。  
お名前、学年または年齢、連絡先(電話番号または住所)、学校名等を記載した紙を裏面に剥がれないようにしっかりと貼り付けてください。

### 審査委員会

- 審査委員長：田中 智之(早稲田大学 教授)  
特別審査委員：小林 哲也(熊谷市長)  
審査委員：白江 龍三(埼玉支所長)  
審査委員：時田 芳文(埼玉支所 前支所長)  
審査委員：永峰 麻衣子(株永峰総合計画事務所・千葉大学非常勤講師)  
審査委員：小谷 隆幸(熊谷市都市整備部都市計画課 主幹兼計画係長)

### 賞

- 市長賞 1点(賞状、副賞5千円の図書カード)  
最優秀賞 各部1点(賞状、副賞3千円の図書カード)  
優秀賞 各部2点(賞状、副賞2千円の図書カード)  
入選 各部3点(賞状、副賞1千円の図書カード)

### 提出方法

- 1) 郵送・宅配便または持参とします。なお、郵便等で提出される方で、受領通知が必要な方は、受領通知用返信はがき(郵便はがきに代表者住所、氏名を記入のこと)を同封してください。
- 2) 応募作品は1案ごとに別々に提出してください。
- 3) 応募締切は2024年12月24日(火) 17時、持参の場合は平日10時～17時に受け付けます。(土・日曜、祝日は受け付けません)・郵送等の場合は締切日必着とします。
- 4) 提出先：後述の問い合わせ・作品応募提出先へ提出

### 入賞者発表・表彰式

2025年1月26日 ①「建築・まちづくり提案の部」の公開審査会場にて発表します。また、日本建築学会関東支部ホームページに掲載します(2025年1月末予定)。

表彰式：

日時：2024年1月26日(日) 13:00～14:00  
会場：熊谷駅ビル・アズ熊谷 6階 PLACE HALL  
展示：詳細未定、後日決定。

### 著作権

応募作品に関する著作権は各応募者に帰属します。ただし、主催者、共催者及び後援者が、この事業の

主旨に即して入賞作品を日本建築学会誌またはホームページに掲載、図書の出版、展示等の公表のために用いる場合は、入賞者およびその協力者は作品の全体あるいは部分を利用することについて承諾することを前提とします。

### **その他**

- ・応募作品は返却いたしません。
- ・作品の内容や図版類が、個人や団体を誹謗中傷したり、他者の著作権に抵触するものでないことが条件です。

### **問い合わせ先・作品応募先**

日本建築学会関東支部「提案競技・写真・絵画コンクールの部」係

〒108-8414 東京都港区芝 5-26-20

電話:03-3456-2050 E-mail:[kanto@aij.or.jp](mailto:kanto@aij.or.jp)

<http://kanto.aij.or.jp>